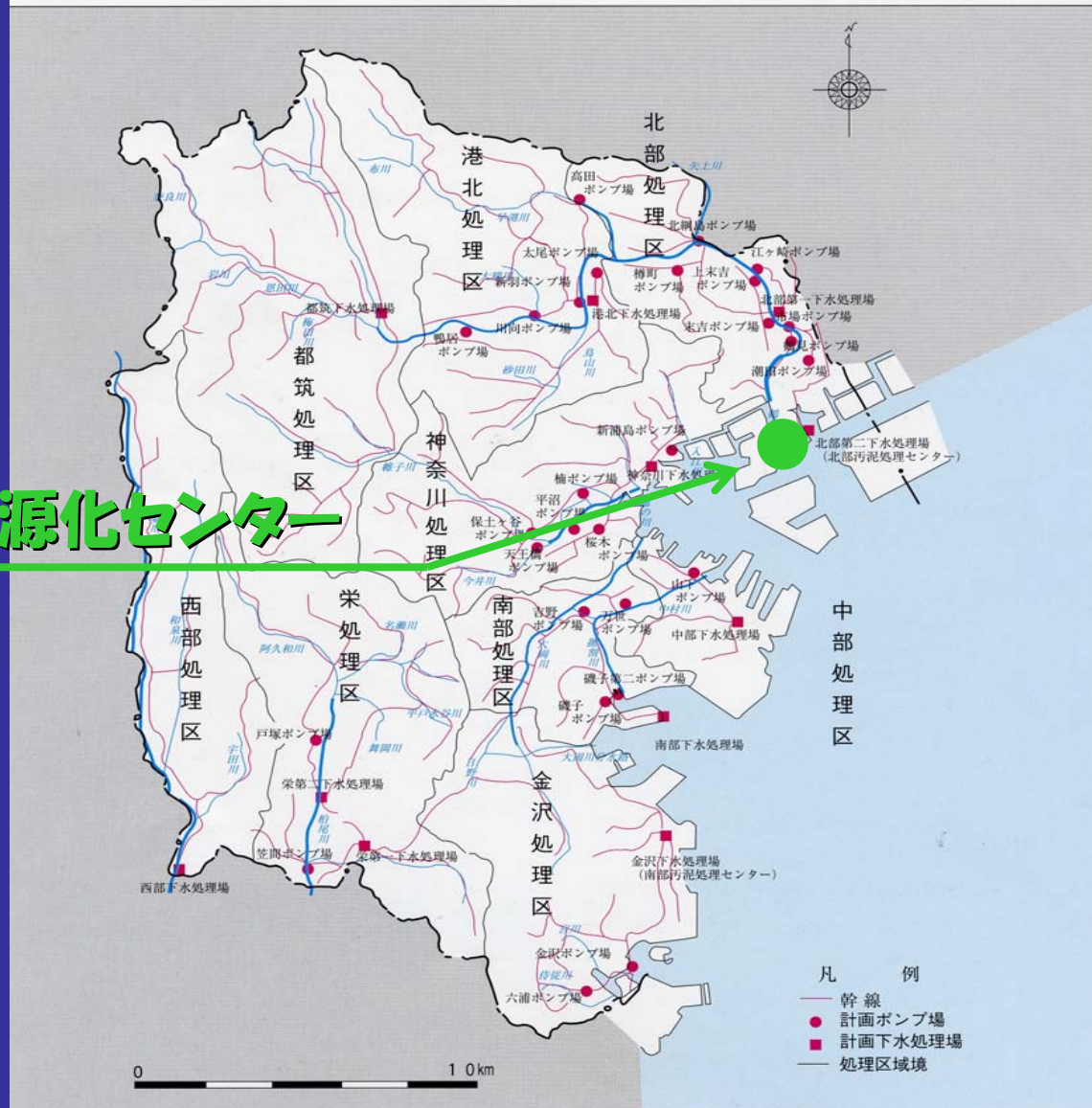


北部汚泥資源化センター 汚泥消化タンクの耐震補強

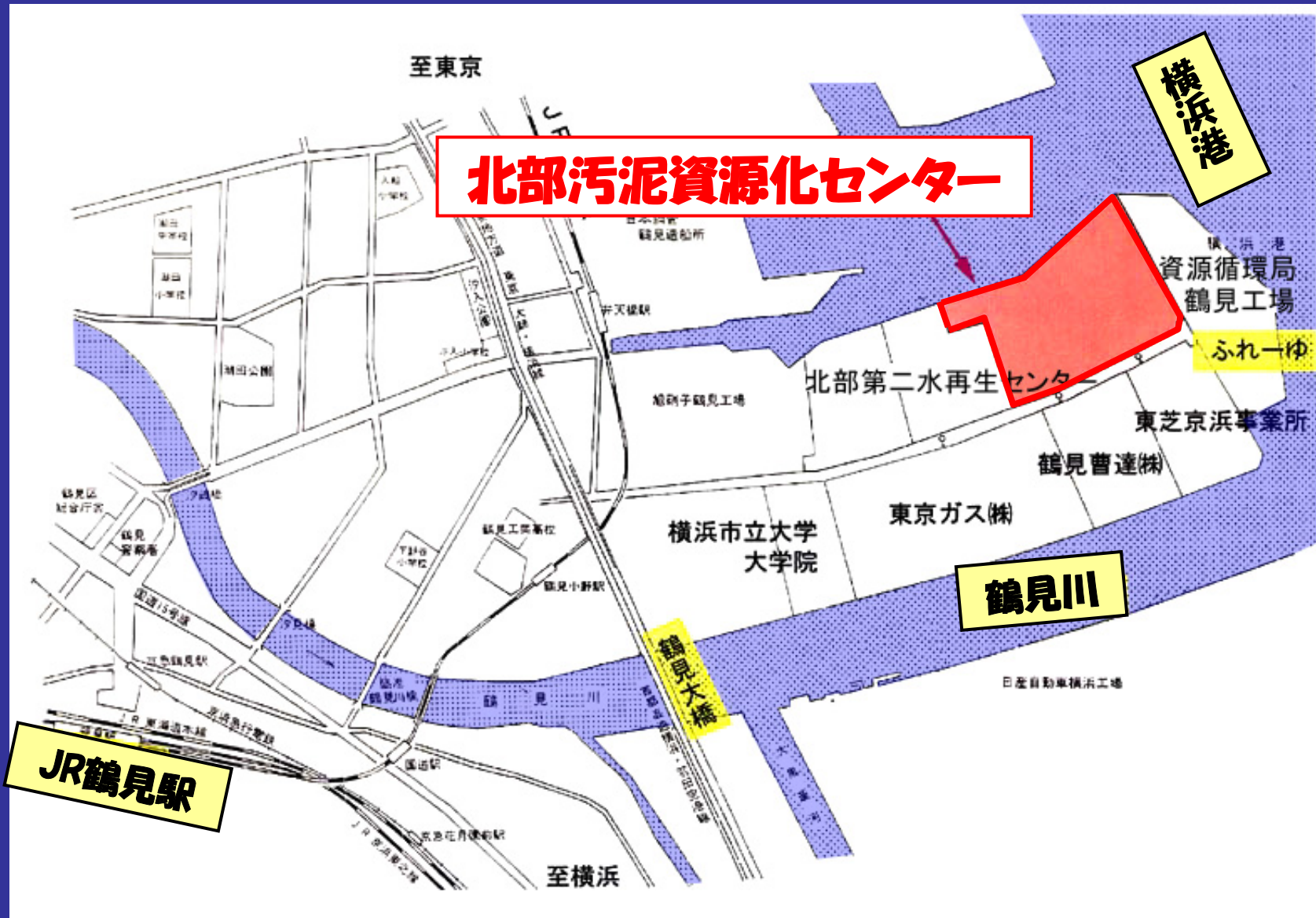
1. 位置図

■公共下水道計画図



北部汚泥資源化センター

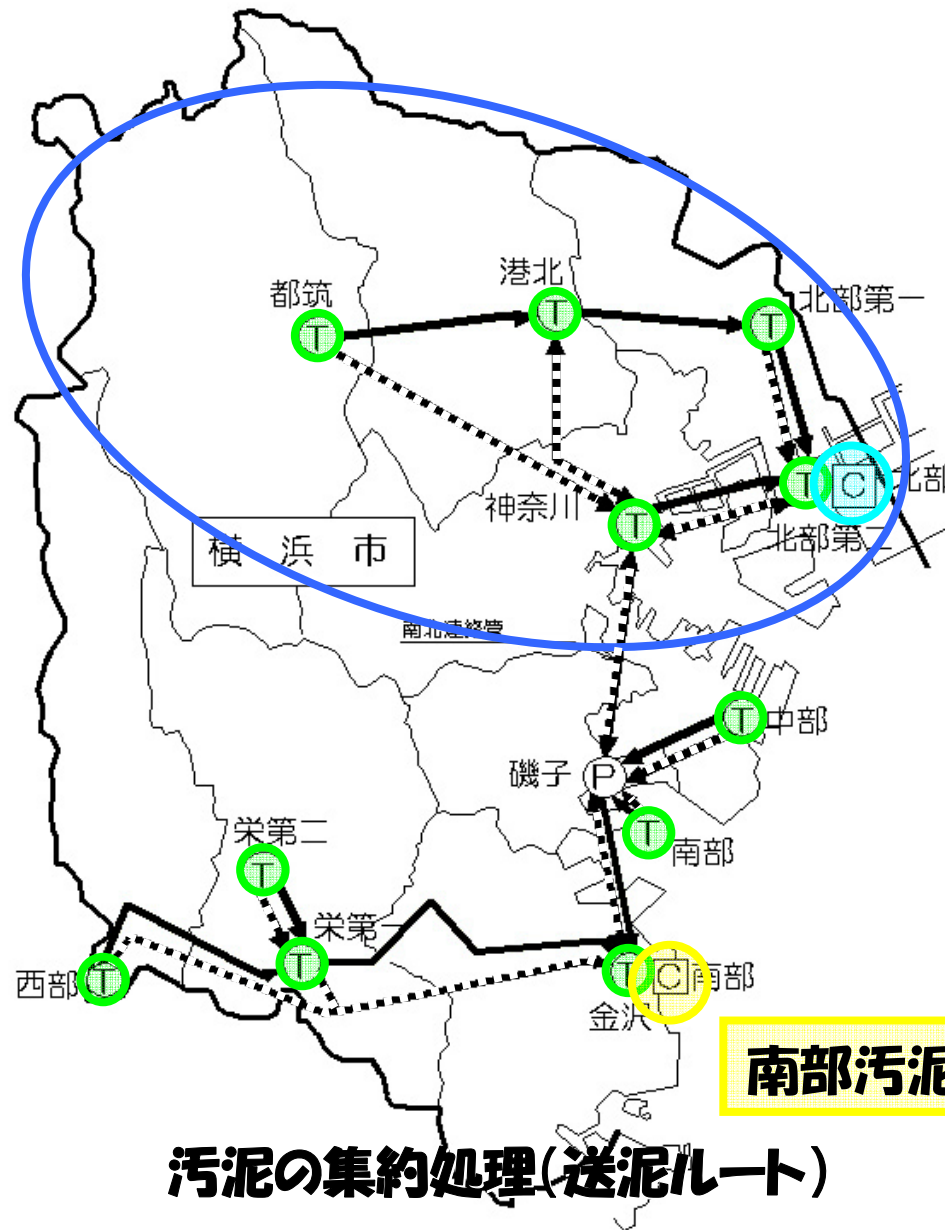
2. 案内図



3. 航空写真



4. 本市の汚泥処理の概要



北部汚泥資源化センター

北部方面5水再生センターからの汚泥を集約

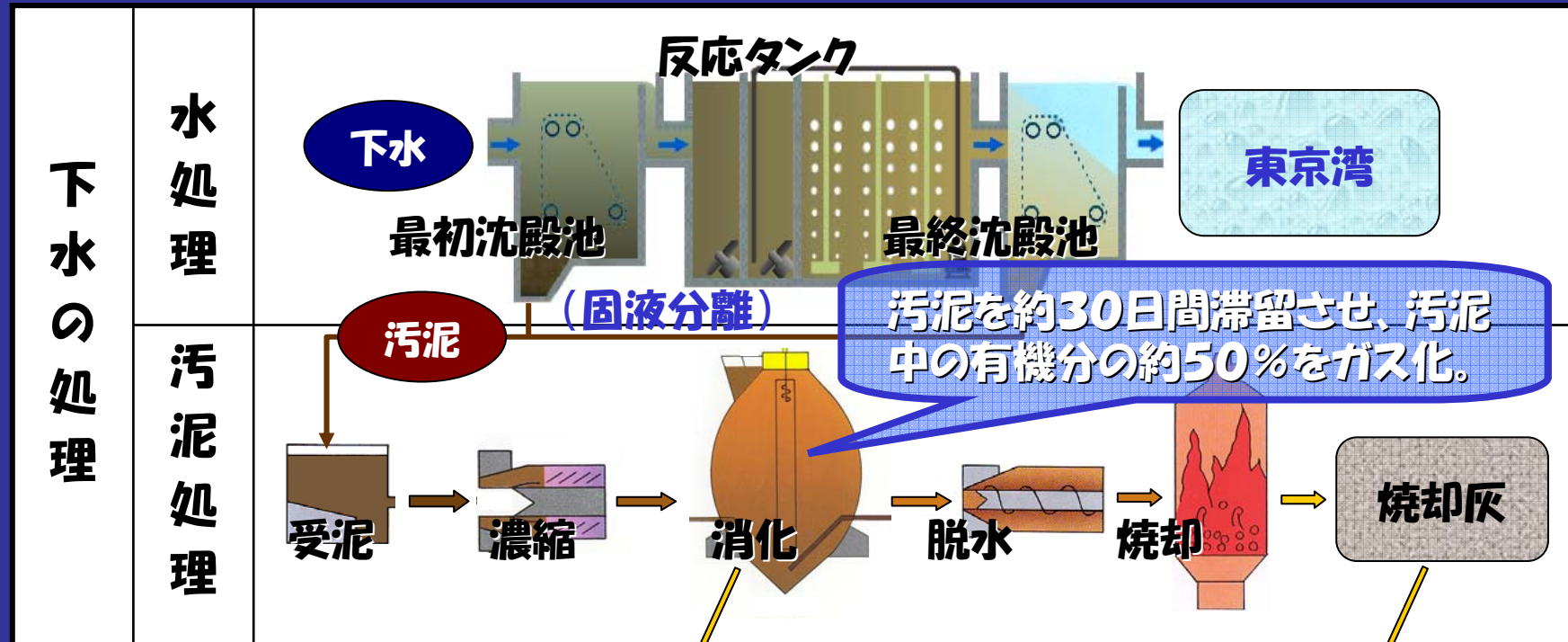


受泥量: 約8,000m³/日
(25m³フル約27杯分)

南部汚泥資源化センター

汚泥の集約処理(送泥ルート)

5. 汚泥消化タンクの機能の概要



消化ガスを利用した発電で、センター内の消費電力の約8割を賄っている。
(標準家庭約7,000世帯の消費電力)



消化ガス発電設備

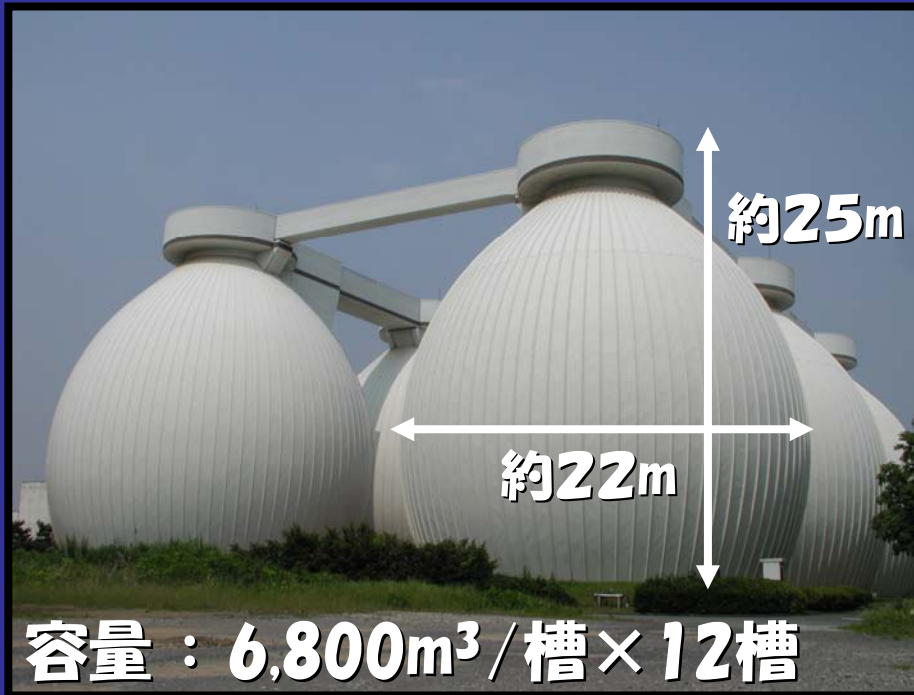
改良土やセメント原料として
100%有効利用



改良土プラント

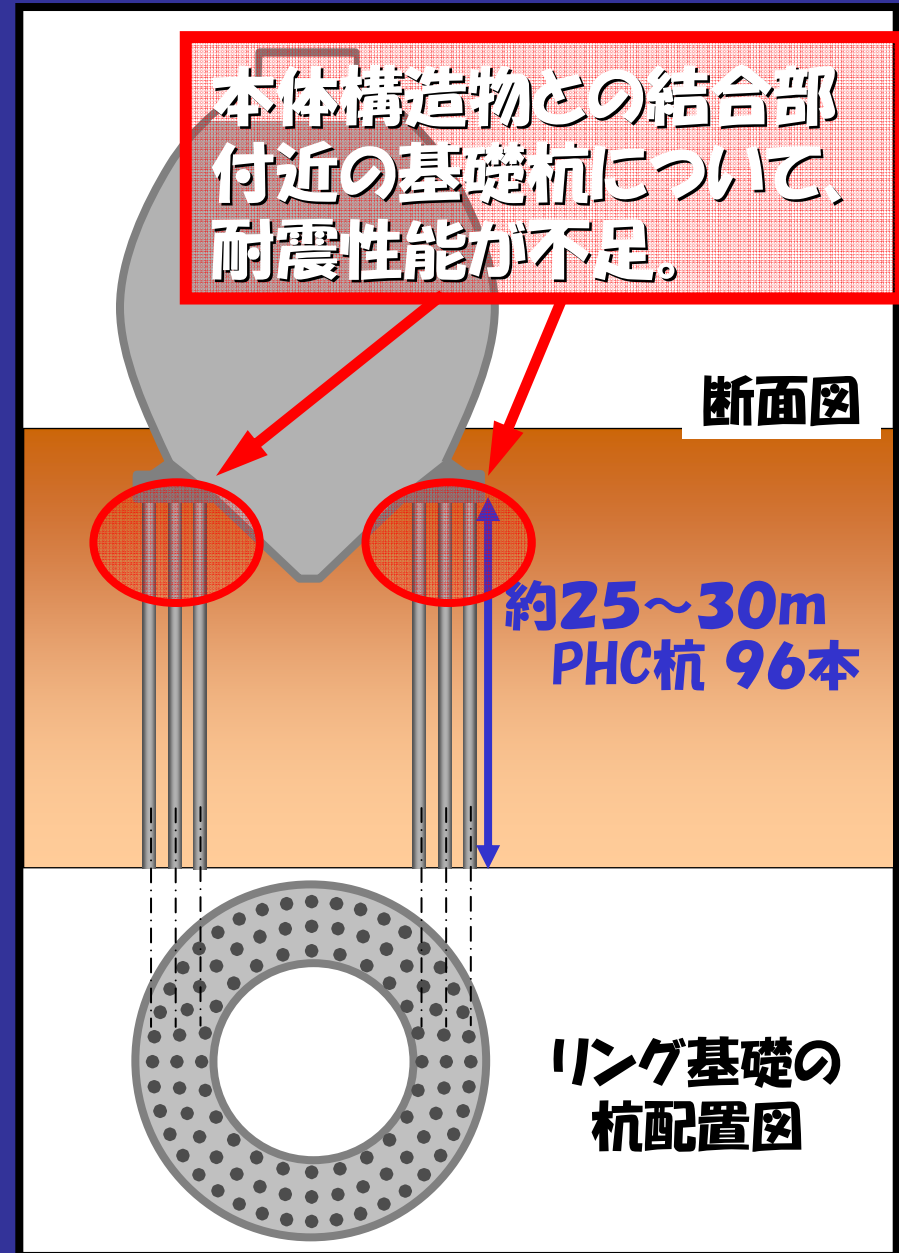
地球温暖化防止

6. 汚泥消化タンクの施設概要



建設年度：昭和58～61年度

平成7年兵庫県南部地震より前の旧基準で設計されている。



7. 汚泥消化タンクの耐震補強の必要性

・汚泥消化タンクが被災すると...

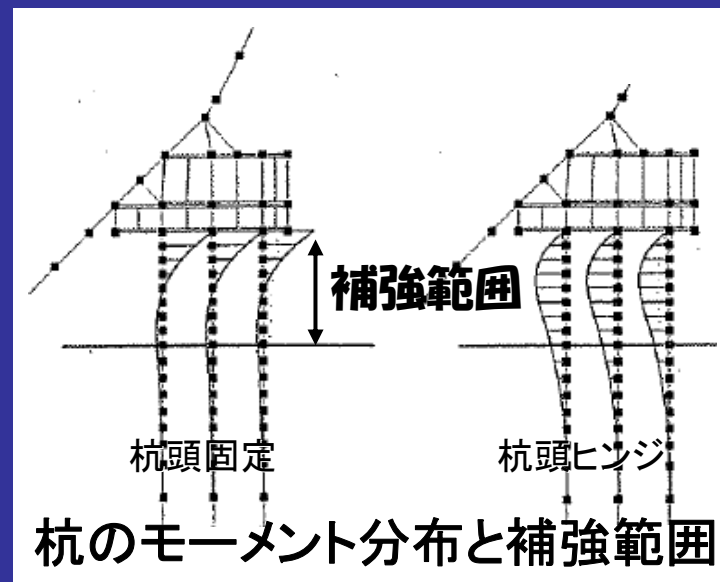
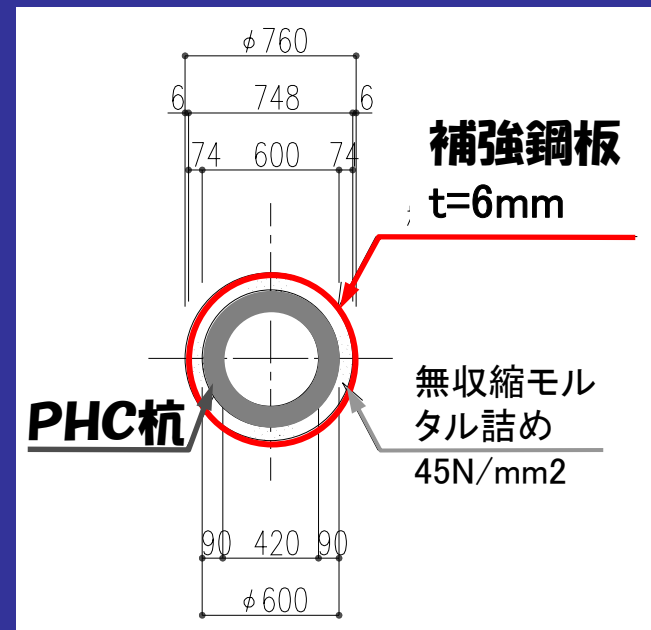
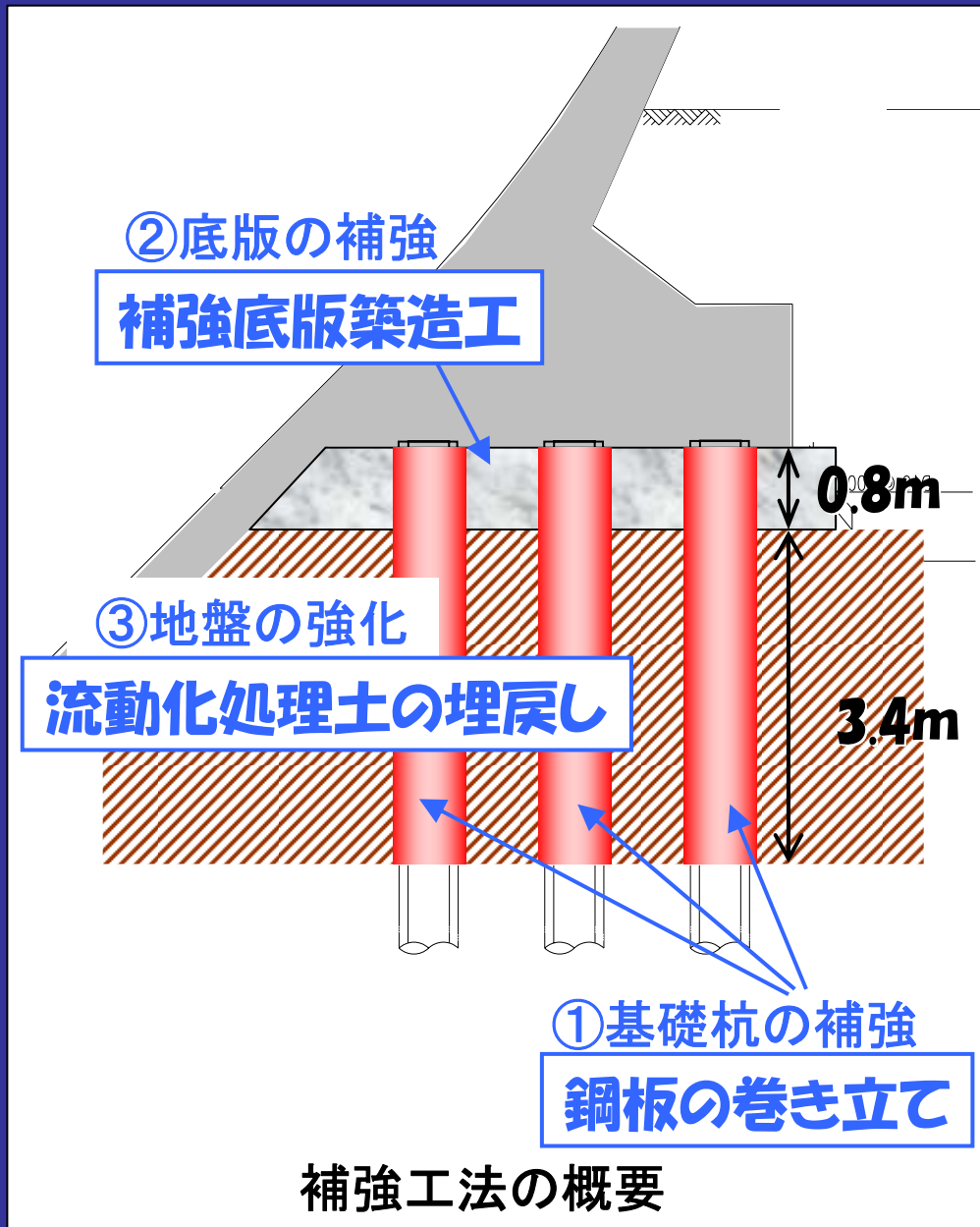


有機分・水分を多量に含む、不衛生な産業廃棄物が大量に発生

安全に処理・処分することが困難

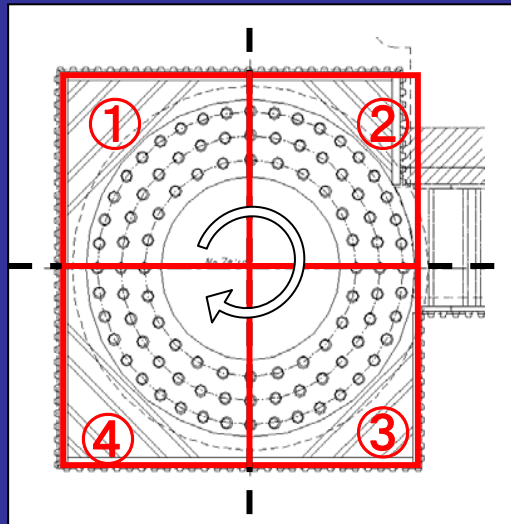
大規模地震時にもライフラインの機能を確保するため、汚泥消化タンクの耐震化が必要。

8. 汚泥消化タンクの耐震補強方法

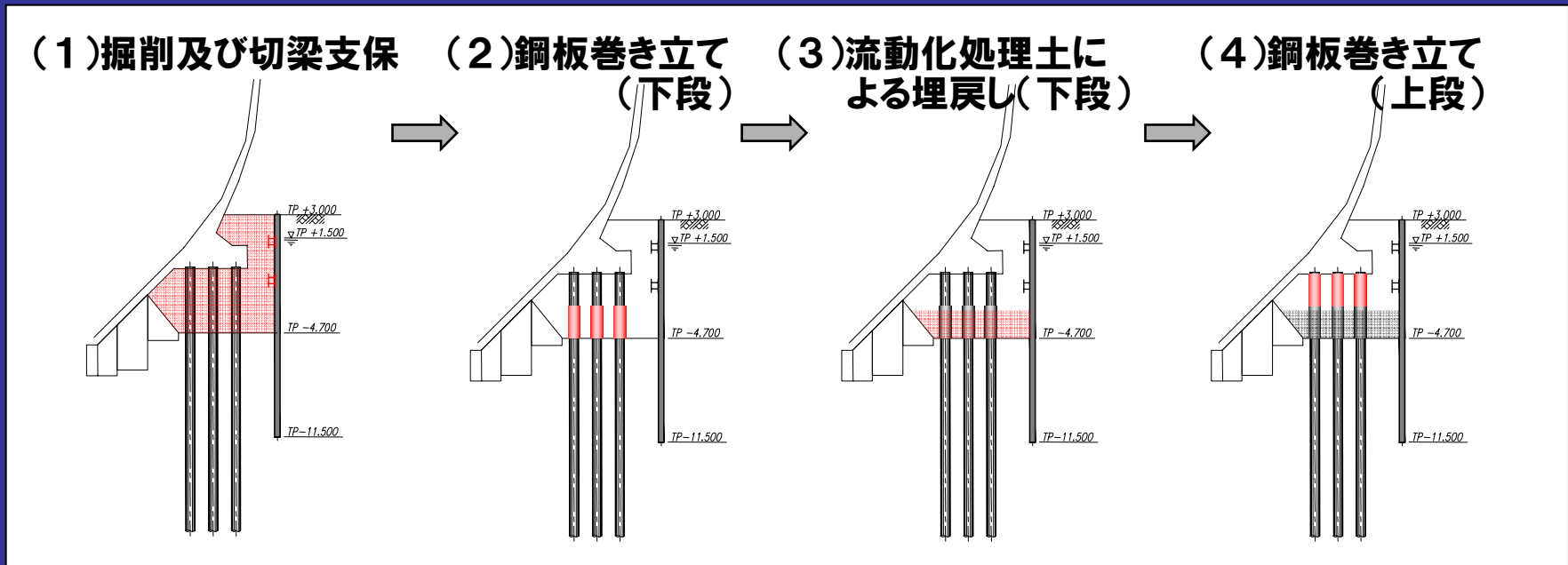


9. 施工手順(1)

- ・鋼矢板を地中に打ち込み、地下水の影響を排除して、掘削を実施。
- ・施工中の安全性を確保するため、4分の1の範囲ずつ掘削、基礎杭補強、埋戻しを繰り返す。

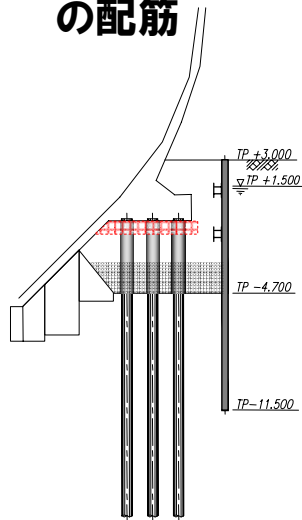


9. 施工手順(2) (4分割した各工区の施工手順)

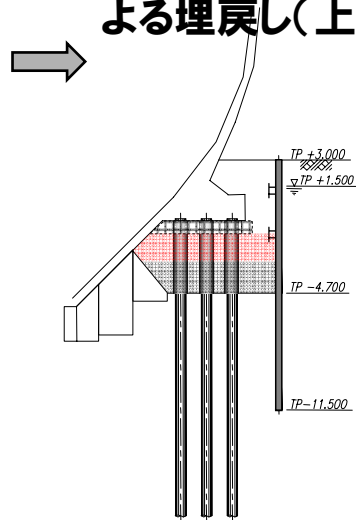


9. 施工手順(2) (4分割した各工区の施工手順)

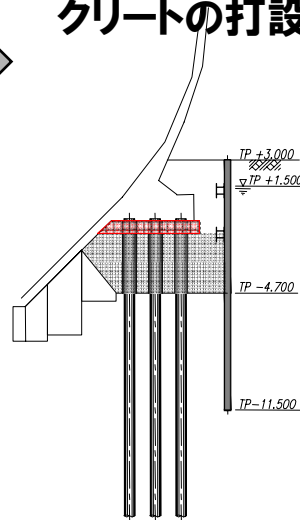
(5) 打ち増し底版の配筋



(6) 流動化処理土による埋戻し(上段)



(7) 打ち増し底版コンクリートの打設



(8) 発生土埋戻し

